

社内報

第300号

2025.10.31発行



本 社	TEL 072-967-6671 FAX 072-967-7532
東大阪物流センター	TEL 072-967-7361 FAX 072-967-7152
泉大津物流センター	TEL 0725-23-7791 FAX 0725-23-7792
桶 川 営 業 所	TEL 048-786-5831 FAX 048-786-5832
ロ ジ ス 東 京	TEL 048-598-5190 FAX 048-593-2120
埼玉物流センター	TEL 048-984-6131 FAX 048-984-6132
行田物流センター	TEL 048-577-4131 FAX 048-577-4132
伊賀物流センター	TEL 0595-45-9511 FAX 0595-45-9512
福岡物流センター	TEL 092-957-4011 FAX 092-957-4012

第55期を迎えるにあたって

社員の皆様には平素から多大なるご理解とご協力を賜り、54期が無事に終了し、当社もいよいよ55期を迎えることが出来ました事に心から感謝申し上げます。

前期は各センター間の情報共有と連携が強化され、新たな顧客開拓の成果も上がり、売り上げ・利益が大幅に伸びました。また、主要取引先のロジライズ様のロジス堺撤退とロジス大阪の移転では泉大津物流センターはじめ専属便ドライバー、管理・事務・配車担当社員の皆様にも大変なご苦労をお掛けしましたが、安定稼働出来ました事に感謝申し上げます。

今期は当社グループ企業であるワールドプランニングとの総合力強化に向けて、本社機能を統合する為に、東大阪市角田の新社屋への移転を2026年春に行う予定です。

ひとつ屋根の下で、二社の経営中枢機能が集約され、これまで以上に情報伝達・意思決定速度を向上させることが出来ます。少子高齢化が進む我が国において、当社においても年々高齢化が進み、次世代を担う若手社員の獲得・育成にも苦労しているところではあります。が、グループ企業の知恵と経験を結集し、より多くの人が集まってくるような、働き甲斐のある魅力的な企業へと成長させてまいりたいと考えています。

ここ数年、日本の社会においては政府主導により「働き方改革」や「ワークライフバランス」が推進され、画一的に労働時間が短縮されてきましたが、働きたくても働けない、稼ぎたくても稼げない、といった声も聞こえてきています。我々物流業界においては乗務時間・総拘束時間の制限が法制化され、こういった制度の変更によって物流の停滞や中小零細企業の経営破綻が増加してきています。当社はコンプライアンスを遵守しながら社員の皆さんに十分な給与を支給し、企業として収益を上げて存続と発展をしていかなければなりません。経営理念にある「変革・継続・挑戦」を根底に企画提案型総合物流企業へと進化させ、社訓である「誠意・融和・創造」を行動指針とし社員全員で経営に取り組む必要があります。

「必要とされるモノを必要な時」に、「安全・確実」に「笑顔」でお届けするのが物流企業としての基本です。お客様から感謝されるような社会人としての基本的な作法・心掛け、所謂ビジネスマナーやエチケットといった事にも今期は改めて社員教育として取り組んで参りたいと思いますので、皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

これからも「社会から必要とされ続ける企業」を目指して、皆さんと共に謙虚に前向きに「やる気」をもって頑張って参りましょう。今期も社業の継続と発展にお力添えを賜りますよう、宜しくお願い致します。

代表取締役社長 中野秀一

エコドライブ実践のお願い

車格	台数	平均燃費実績
1t	7	6.8km/l
2t	5	7.6km/l
3t	4	6.7km/l
4t	12	7.0km/l
8t	2	4.8km/l
15t	1	3.0km/l

エコドライブ実践ポイント

- ・ 急発進・急ブレーキの回避
- ・ アイドリングストップの徹底
- ・ 適切なギアチェンジ
- ・ エアコンの効率的な使用
- ・ タイヤの空気圧管理
- ・ 不要な荷物の整理
- ・ 定期的な車両点検
- ・ こまめな休憩と水分補給

拠点別無事故日数累計 (2025.10.20付)

福岡	泉大津	行田	東大阪
1,714日	177日	732日	45日
埼玉	伊賀		
1,136日	93日		